

議事録（要旨）

委員：令和6年度に小学生の利用が大きく伸びているが、その要因についてどのように分析しているのか。

市：一般来館の小学生を受容できるよう方針を変更し、専用の部屋を確保するなどの工夫を行っている。また、以前は放課後児童クラブの児童も集計に含んでいたが、現在は一般来館者のみを計上している。

委員：児童館が子どもたちの待ち合わせ場所として活用されている現状について、どのように考えているのか。

市：子どもたちが学校で約束をして児童館に集まり、館内や公園で遊ぶという利用の仕方が見られる。保護者にとっても、場所が明確であることで安心感につながっている。

委員：3歳児からの無償化により幼稚園等に通う子が増えているが、乳幼児向け講座「とっところランド」は、その前の段階である0歳から2歳児をターゲットに運営していくという理解でよいのか。

市：利用者の低年齢化が進んでおり、飽きやすい年代への取り組みが今後の課題である。他の子育て支援施設と併用する保護者のニーズに合わせ、0歳から2歳児を中心とした運営を検討していく。

委員：保護者が職員に相談したり、気持ちを切り替えたりする場としても活用されているのではないか。

市：子育ての悩みを聞いたり関わり方をアドバイスしたりするなど、孤立しがちな保護者の第三の相談相手として、ガス抜きの役割も果たしていく。

委員：寄贈されたグランドピアノを今後どのように活用していくのか。

市：子どもたちが音楽に親しむきっかけや情操教育の場となるよう、行事での演奏発表や、プロの演奏家を招いたコンサートなどの企画を検討している。

委員：おもちゃの入れ替えや購入予算の状況、また家庭で不要になったものの寄付の受け入れについてはどのようになっているのか。

市：アンケートや子どもたちの声を参考に、予算の範囲内で計画的に購入を進める。寄付については積極的な募集はしていないが、申し出があれば適宜受け入れている。